

# 月刊 KatsuMagazine

カツマガジン

2012年 2月号 vol. 11



## CONTENTS

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| 巻頭言「SNSの使い方について」 .....              | 1  |
| ① SNSを活用しよう .....                   | 2  |
| ② 初心者向けFacebook入門講座 .....           | 4  |
| ③ 初心者向けTwitter入門講座 .....            | 7  |
| 近況報告『自営業者が、電子ガジェットが2台ずつ必要なわけ』 ..... | 10 |
| 編集後記 .....                          | 10 |
| 勝間塾レポート（第10回月例会：1月20日実施） .....      | 11 |

## SNSの使い方について、下記のように悩んでいる人が多いと感じています。

「面白そうだし、使いたんだけど、時間が取られるし、しかもやり方わからないしなあ」

SNS (Social Networking Service: ソーシャル・ネットワーキング・サービス) というとなんか難しく感じますが、要はネットワーキングの新しい形です。サイトというような明確なものを持たない人からは、これまでなかなか受け取ることができなかった情報が、気軽に引き出せるのですから、インターネットの新しいスタイルともいえます。情報を発信する側としても、受信する側としても、ぜひ参加すべきでしょう。

とはいえ、ほかのすべての技術習得と同じく、はじめてSNSに参加するにあたっては、ある程度、先達にコーチを受けた方が習得までの時間が短縮できます。

はばかりながら、パソコン通信時代から20数年間、ほぼ毎日、ネットを通じてコミュニケーションを取ってきた身として、SNSについてこれまで習得したことをできる限り、みなさんにお伝えしたいと思い、今回のKatsuMagazine (カツマガジン) にまとめました。

SNSの使い方は人それぞれですので、ここで書かれていることが唯一無二の正解ではありません。しかし、私の試行錯誤の結果を通じてのまとめですので、ぜひ、ご自身の習得のショートカットに活用いただければ幸いです。

 勝間 和代



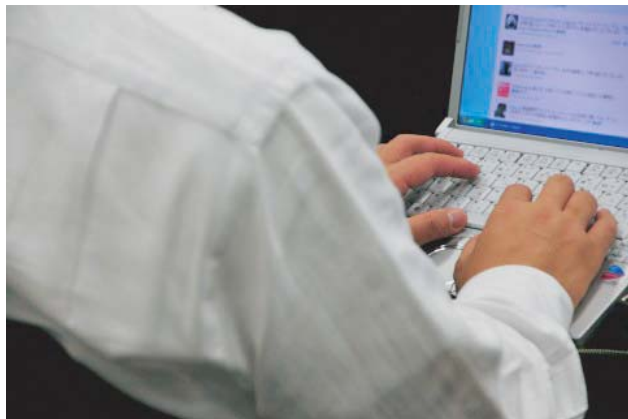
## テーマ1 SNSを活用しよう

勝間いわく、「人は、実力が5%、運が95%。運は、人のつながりがもたらすもの。そして、SNSは人のつながりの増幅器」。目標を達成できるか、できないかの95%を、運が左右するとしたら、あなたも今日から、運をよくするツールの1つとして、SNSを積極的に活用してみませんか。

### TwitterとFacebookの違いにまつわる雑感

October 04, 2010 <http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2010/10/twitterj.html>

Facebookを使い始めてすぐに、便利だと感じたのが、Facebookで友達になっている人のうち、オンラインになっている友人たちとのチャット機能でした。すでにFacebookのヘビーユーザーが多いので、チャットで簡単に質問すると、答えもすぐ返ってきます。



友達は、Gmailのアドレス帳からの検索が一番便利でした。あとは、知り合いをたどっていくと、かなりの確率で、たくさん知り合いがいます。また、ある程度登録していくと、この人も知り合いでは、というリコメンドが結構正確でした。

そして雑感として、Facebookは、mixiを、よりユーザビリティやOpen性を洗練させたサービスだと感じました。したがって、Twitterよりは、かなりクローズな感じです。

特に、FacebookはTwitterと違って、リスト化などユーザー振り分けのためのきめ細かい作業には向いていない一方、写真やリンクの貼り方、「いいね!」というボタンや、あいさつなど、コンテンツに関してはきめ細かいサービスがいろいろあるので、本当の知り合いの動向を垣間見て、なんか、その人の生活を疑似体験する、というイメージです。プライバシー設定も、かなり細かくできます。

一方、Twitterは140文字のつぶやきとハッシュタグ(#)、あとは検索とリストくらいしかスクリーニングの方法がないのと、細かいプライバシー設定もできないので、どちらかという、広く大きく、パブリックなつぶやき、という感じでしょうか。もっとも、Twitterのいいところは、リンクに相互承認作業がないことです。

SNSとはいえ、コンセプトが違うサービスなので、使い分けかなあ、と思います。とりあえず、Facebookを本格的に使い始めたらすぐに、なつかしい4人のみなさんと会う約束ができました。それが一番の収穫です。

広くちょっとずつ (Twitter) ←→ 狭く深く (Facebook)

というサービスのはやりすたりや、使い分けは、本人の中でも、あるいは全体でも、どんどんいつたりきたりするのかもしれませんがね。

## Facebook、Twitter、ブログの使い分けについての考察

October 29, 2010 <http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2010/10/facebooktwitter.html>

FacebookでFacebookページを運用しての気づきをまとめておきます。

### 1. 伝えたいメッセージの内容と広がりを考えて、どこに書くか選ぶことが必要

内容の濃さおよびコアファンの多さは「ブログ＞Facebook＞Twitter」となりますし、書くほうの手間の優位性や、リーチの大きさは逆に、「Twitter＞Facebook＞ブログ」ですから、それぞれ、140文字以内につぶやく話なのか（Twitter）、ちょっと気軽なリンクや写真をまとめたのか（Facebook）、はたまた、しっかりと文章を書いて流したいのか（ブログ）、という感じで、どこに書き込むか、決めます。

### 2. 濃い内容→気軽な内容のリンクはOKだが、逆はしないほうがいい。

たとえば、TwitterをすべてFacebookに流してしまうと、うっとしいかもしれないです。これは薄い→濃い方向だから×。一方、ブログのRSSはTwitterにもFacebookにも流したほうが便利ですね。

私もよくわからないうちは流し込んでいましたが、その原則は守るようにしています。

そして、Facebookには別タブでTwitterを表示させ、ブログにはサイドバーに、TwitterとFacebookを載せるようにしました。すなわち、それぞれのエントリーベースでは「ブログ→Facebook」「ブログ→Twitter」「Facebook→Twitter」はありますが、逆はなし。

ただし、FacebookにはTwitterのタブを、ブログにはTwitterとFacebookの窓をサイドバーに載せています。なお、Facebookでタブの追加は個人ページではできなくなっていますので、お気をつけください。Facebookページのみ可能です。

### 3. 写真はやはり、キラーコンテンツ。どうやって手間暇かけずに編集するかがポイント

結局、どの3つに対しても、文字のほか、各種画像がやはり、雄弁に語ります。したがって、写真は多いほうが楽しい。

ただ、いちいちカメラからカードを外したり、USBでつないだり、携帯から手作業でアップすると、まず続かないので、Eye-Fi + Flickrのような方法を使ったり、また、Flickrにアップされた後も、それをExtensionその他で使い勝手よく、TwitterでもFacebookページでもブログでもクリックの手間が少なく載せられるようにします。

### 4. 各種ソフトを使わないと、WEBだけではまず、頭がパンクします

Facebook、Twitter、ブログの3つを管理しようとしたら、いちいちそれぞれのページに行ったり来たりをすることになり、時間がいくらあっても足りません。なので、私の場合は、HootSuiteでTwitterとFacebookは一括管理、写真を投稿するときにはPixelpipeなどでどこに投稿するか判断、ブログのコメント欄は廃止して、Twitterとzenbackで連動、などの工夫をしています。



勝間和代 Twitterページ▲

## テーマ2 初心者向けFacebook入門講座

Facebookについて、名前は知っているけれど、使ったことはないというみなさん。勝間が考える、入門講座をまとめました。これを機会にあなたも、Facebookをはじめてみませんか。そして、ぜひ、勝間の公式Facebookページにもいらしてください。あなたの「いいね！」をお待ちしてます。

### 初心者のためのFacebookガイド ～まずは楽しめるようになるまでの5つのStep

February 03, 2011 <http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/02/twittermixiface.html>

2011年に話題になった映画『ソーシャル・ネットワーク』などがきっかけで、Facebookを知った人も多いと思います。しかし、Facebookをはじめたいんだけどよくわからない、はじめたけれども楽しくない、という声がありますので、ちょっとこれまで、学んできたことをステップでまとめていきたいと思います。最初は、とりあえず楽しくなるまでの5ステップです。

#### ステップ1

##### とりあえず、アカウントを取得しよう

Facebookは紹介制でないので、さくさくと取得をすることができます。この時の注意点としては、「实名制SNSである」ということをよく理解して、自分の名刺を作る感じで、正確な情報を入れていくことです。

たとえば、氏名は本名で入れましょう。ローマ字にしておいたほうが、のちのち、海外の人ともつながりやすくなります。漢字のほうは別名をカッコ書きでいれることができます。



出身地、生年月日、学校、勤め先、メールアドレス、携帯電話番号、既婚・未婚の別、趣味など。正確に記入します。ここは、基本的にはリアルで会ったことがある人に、リアルで教えたい情報をシェアする感じです（後で詳しく説明します）。本当に、自分の名刺、あるいはインターネット上の住民票を登録するイメージです。ちなみに、日本ではまださほど事例がないようですが、海外ですと、実名でなかったり、詐称だと思われると、簡単にアカウントが削除されます。

写真もできる限り、わかりやすい顔写真を。みんな素敵な顔写真を載せているので、下手に隠すと、かえって恥ずかしい思いをします。

また、友達以外の人にどのくらい情報を開示するのか、検索可能にするのか、友達申請は誰でも受け付けるのか、友達の友達しか受け付けられないのか、などもあらかじめ設定できます。

#### ステップ2 友達を探そう

登録が終わったら、友達とつながりましょう。ニュースフィードの左ナビにある「友達を検索」というメニューでは、Yahoo!のメールやSkypeのIDなどをキーにして、友達を検索してくれます。右上の「友達を検索」というメニューでは、出身地や出身校、共通の友達などを手掛かりに、友達を検索してくれます。

この時に、気をつけたいのは、Twitterやmixiと同じ気分でどんどん承認すると、後ではまります。というのは、Facebookの設計思想が、知り合い同士のつながり、ということを重視していて、個人の登録人数には上限があるようです。また、何らかのトラブルでアカウントロックがかかった際など、個人認証が必要となった時に「友達当てクイズ」が出てきたりするからです。不特定多数とつながりたい時には、相互認証が不要な「Facebookページ」が別途、設けられています。

Facebookの機能のこの部分は肝でもあります。要は、集合携帯電話みたいな感じになるのです。知り合い同士の内輪ネットワーク、という感じです。たとえば友人から「ブルーノートに行かない？」みたいな誘いが回ってくる、とか。他にも、自分の友人のAさんとBさんが、実は友人だったことがわかったとか、意外な気づきもあります。とにかく、しつこいようですが、友達の承認は携帯電話の番号を教え合うくらい、慎重に!!

### ステップ3 ユーザーネームをとろう

単にIDを取っただけだと、数字が並ぶ無味乾燥なURLになりますので、ユーザーネームを取得して、自分の好きな住所を確保します。

私は個人と、Facebookページと、どちらもユーザーネームを取っています。無料です。



◀ 公式Facebookページ

<http://www.facebook.com/kazuyo.katsuma>

個人ページ ▶

<http://www.facebook.com/kkatsuma>



### ステップ4 自分のお気に入りのFacebookページを探して、登録していこう

実はステップ2であまり友達が増えず、Facebookをやめてしまう人が多いのですが、Facebookの個人ページの楽しみは、せいぜいFacebook全体の1/3であって、残りの1/3はFacebookページ、最後の1/3はアプリにあるのです。

例えばFacebookページは、アーティストや作家、企業、サービスなどで検索すると、ざくざく見つかります。Facebookページは相互承認不要ですから、どんどん「いいね!」を押していくと、自分のページに更新情報が入るようになります。イメージでいうと、RSSリーダーです。

ここまで設定をすると、自分の「ニュースフィード」というところに自分の知り合いや、Facebookページの情報が流れてくるようになりますので、そこそこ楽しめるようになります。しかし、ここで終わっては、Twitterのほうが面白い、ということになってしまいます。ここからが大事で、Facebookの醍醐味は、やはり、相互コミュニケーションのしやすさです。

## ステップ5 「いいね！」ボタンや、コメントをつけまろう

友達や、Facebookページの投稿で、面白かったり、いいなあ、と思うものにはどんどん、「いいね！」を押していきます。そうすると、自分が「いいね！」を押したことが相手にわかりますし、その投稿にさらに別の人がコメントをしたらすると、自分のページの左上にある地球儀のマークのところに表示されるので、動きがあったことがわかるようになります。

Twitterだと流れていってしまうコミュニケーションが、Facebookだと体系だってできるので、楽しいですよ。

ここまでが、個人的に考えるFacebookの最初の楽しみ方です。アプリの楽しみ方や、写真の共有、自分で情報発信、ブログやTwitterとの連携、クライアントソフトによるほかのサービスとの共通化、携帯やスマホでの使い方など、まだまだ、書きたいことはたくさんあるのですが、とりあえず、最初はまずここまでやってみてください。

Facebookに限ったことではありませんが、気持ちよく利用するためには、利用する側も注意したほうがよいことがあります。

### ●プライバシーについて

初期設定では、登録情報が「すべてのユーザー」に公開されています。

個人情報など、公開したくないことは、公開する範囲を「友達まで」「友達の友達まで」「自分のみ」などに、自分で設定する必要があります。必要に応じて、設定しておきましょう。

### ●アカウントの不正使用

実名登録のFacebookですが、残念ながら“なりすまし”など、不正がないわけではありません。フィッシング詐欺、チェーンメール（迷惑メール）、出会い系サイトへの誘導などもあります。

特にFacebookは、「実名」という安心感から油断しがちですが、全く安全、ということはありません。メリットと同時に、デメリットも知り、十分注意をしながら活用してください。

### 関連情報

#### ● 勝間和代個人ページ

<http://www.facebook.com/kkatsuma>

こちらは、知り合いの方のみ承認しています。ご了承ください。

#### ● 勝間和代公式Facebookページ

<http://www.facebook.com/kazuyo.katsuma>

こちらは、誰でも「いいね！」ボタンを押すことで、参加していただけます。

写真もたくさんUploadできるし、イベントのお知らせはできるし、掲示板は楽しいし、

Twitterとも連動でき、NIFTY-Serveのころのフォーラムを思い出しました。

Twitterとはまた違った楽しさがあります。

まだのFacebookに登録をしていない人はまず、ご自身のIDを作成して、私のFacebookページで「いいね！」を押してみてください。一緒に楽しみましょう。

勝間のおすすめ本を紹介する  
ブックレビュー

も大好評！！

無料体験実施中!!

CLICK HERE

## サポートメール

「おはようございます、勝間和代です。」

1日の活力や、前に進むための気づきが、

たくさん詰まっている“サポートメール”。

前向きなあなたへ、毎朝6時にお届けします。



[http://www.katsumaweb.com/modules/coach/index.php?content\\_id=1](http://www.katsumaweb.com/modules/coach/index.php?content_id=1)

## テーマ3 初心者向けTwitter入門講座

「Twitterのやりとりは“巨大なブレスト”」これは、勝間が司会を務めるTV番組『デキビジ』で、メディアジャーナリストの津田大介さんが言われた言葉です。世界中の人とブレストができる！確かに、Twitterには、そんな魅力が溢れています。

### 勝間和代のTwitter初心者のための使いこなしの10ステップ

October 19, 2009 <http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2009/10/twitter10-e4b8.html>

2009年の7月に本格的にTwitterの活用を始めて以来、その可能性に注目し、いろいろな人に口頭や書籍、記事などを通してTwitterをすすめてきましたが、初心者のうちはなかなか、どうやって楽しめばいいのか、わかりにくいと思います。



実際、「Twitter始めたんですけども、まだやり方がよくわからなくて」という相談を受けたりします。

なので、これまでもバラバラといろいろなところでコツを説明してきましたが、Twitterの楽しみ方・使い方を10のステップに分けて、整理していきたいと思います。これを実行すれば、Twitterの操作が一通りわかって、まずは情報の受け手として、そして、一部の情報については発信者として、Twitterを楽しめる「初級者」になることを想定しています。これをマスターしたときにはぜひ、Twitter初級者が中級者になるための使いこなし10ステップに進んでみてください。

#### Step 1. とにかく、だまされたと思って、専用クライアントか専用WEBを使う。

Twitterは最初のtwitter.comの画面のままだと、正直、かなーり、使いづらいです。なので、専用クライアントか、専用WEBの使いやすい画面にして、複数のラインを一度に表示できるようにしてください。

この作業により、タイムラインといわれる、フォローした人の画面のほか、自分のIDが入っているMentions、ダイレクトメッセージ、検索メッセージ、特定ユーザーのメッセージなどが一覧できるようになります。

RT (Retweet) も、オリジナルのWEBではやりにくいのですが、専用クライアントなら、すぐにできます。また、気に入った人のプロフィールを見たり、フォローをしたりする時にも、専用クライアントがあるほうが便利です。

#### おすすめの専用クライアント

- ◆ Google Chromeを使っている方におすすめ  
HootSuite : <http://hootsuite.com/>
- ◆ 専用クライアントとして、おすすめ  
tweetdeck : <http://www.tweetdeck.com/>

#### Step 2. まずはフォローする人を増やして、タイムラインを楽しむ。目標100人以上。

Twitterを始めた段階では、何十万人もの人がわさわさと集まっているところに、知り合いが1人もいない状態でぽつねーんと放り込まれたのに近い状態です。

なので、ここで1人で叫んでも、だれーもなにも聞いてくれません。なので、まずは、知り合いを作りましょう。知り合いを作るには、とりあえず、相手の話をふむふむ、と聞くのが一番です。

最初は20人くらい、サインアップと同時におすすめユーザーが入っていますので、まずはその人たちの話を聞いてみましょう。そして、そうすると、その人たちの話の中で、さまざまな人が @ + ID という形で紹介されていきますので、そこをクリックして、さらに面白そうな人を探してみましょう。

Twitterの有名・公式・お役立ち情報アカウント一覧などのページも役に立ちます。まずは、100人をどんどんフォローして、自分のタイムラインを充実しましょう。

### Step 3. いろいろな人に、@ + IDで積極的に話しかけてみる。

そして、自分がフォローする人が増えてきたら、今度は積極的に話しかけてみましょう。別に無視されても、気にすることはありません。運がよければ、返事がきますし、本人から返事がなくても、同じ人をフォローしていてサーチで見ている人が代わりに返事をしてくれたりします。要は、誰かに話しかけてみることで、会話の輪に参加してみるのです。

### Step 4. フォローされる人数をがんばって、100人以上に増やしてみる。

いろいろな人に話しかけるうちに、少しずつ、自分をフォローしてくれる人が増えてくるはずです。あるいは、面白いと思う発言があったら積極的にRTをしてほかの人にお知らせしたり、自分でもさまざまな情報を140文字に込めて発信してみてください。

すると、徐々にフォローされる人数が増えてくると思います。当面の目標は、100名です。そうすると、何か発言をする度に、100人に流れるので、返事も来やすくなります。継続的に、Step 3のような形でほかの人たちにも積極的にコミュニケーションすることを忘れないようにしてください。

### Step 5. buzztter、ふぁぼッターを併用して、面白い発言を探す。

buzztterは、いまTL（タイムライン）に流れている、主要なキーワードを拾ってくれるサービスです。ふぁぼッターは、多くの人になるほど、あるいは参考になる、と思って、Favoriteボタンを押した発言を見せてくれるサービスです。こういうものを併用すると、面白い発言が見つかるほか、自分のIDなどで検索をすると、自分の発言のうち、何をみんなが面白いと思ってくれたのか、わかるようになります。



### Step 6. 慣れてきたら、モバイル、特にiPhoneも併用する。

iPhoneのアプリや、携帯電話のアプリでもTwitterは使えます。特に、写真や位置情報を投稿する際には、携帯電話系のほうが便利です。iPhoneを使うと、TweetMicで音楽をTwitterにアップしたり、セカイカメラから投稿したり、さまざまなアプリケーションを連動して楽しめます。

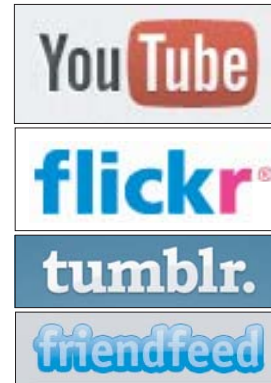
### Step 7. 慣れてきたら、ハッシュタグを使ったような会話や、イベントに参加する。

さらに慣れてくると、「#」で始まる、ハッシュタグというものに気づくようになります。これは、同じテーマの内容について、決まったタグをつけることでみんなが話題を共有できるようにしたもので、たとえば「#shigotogaku」「#dekibiz」で検索をすると、私が司会を務めている「仕事学のすすめ」や「デキビジ」に関連する会話を検索できます。自分でタグを提案して、使ってもらうことも可能です。なお、タグの前後には半角スペースをつけることを忘れずに。

## Step 8. ほかの自分のさまざまなツールと連動させてみる。

すでにブログを開いていたたり、YouTubeやFlickr、Tumblrなどにアカウントを持っている人は多いと思います。これらのサービスはほとんど、Twitterへのつぶやき機能がありますので、連動させると、YouTubeで面白いと思った動画や、自分がアップした動画を人に知らせることができます。

さまざまなサービスを統合するのはFriendFeedが便利です。



## Step 9. 自分の発言をまとめてみる。

自分の発言が貯まってくるようになると、後で見たくなると思います。そういうときにはTwilogなどのサービスが便利です。発言内容がブログ形式で読めるようになります。

あるいは、自分の発言をブログに自動投稿したいときなどはtwtr2srcなどのサービスを併用します。

## Step 10. とにかく、検索で使ってみる。

興味があるキーワード、人名、IDなどで検索するクセをつけてみます。HootSuiteは日本語で検索ができますが、TweetDeckなど検索ができないものもあるので、その場合にはTwitterの標準機能の検索を使うか、あるいは「Twitter検索」などのサイトも併用します。

さまざまな興味ある発言や、人が出てくるはずです。そうしたら、その人をフォローしたり、話しかけたりしてみましょう。

以上をマスターしたらぜひ、「Twitter初級者が中級者になるための使いこなし10ステップ」に進んでみてください。

いずれにしても、Twitterは決まった使い方があっていいわけではないので、1つのやり方として、参考にしてみてください。大事なことは、細くていいから、続けること。そして、面白いことをしっかりとつぶやき、面白い発言はRTしていく、この繰り返しです。

Twitterの公式ナビゲーター、Twinaviなどもさまざまな使い方や面白いキーワードがUpされているので、そちらも参考にTwitter生活を、楽しんでみてください。

### Twitter初級者が中級者になるための 使いこなし10ステップ

- Step 1. Retweet、RTを積極的に使う。
- Step 2. ハブになる人やタグをみつけて、軸にする。
- Step 3. 気になるURL情報を共有する。
- Step 4. 写真や音楽をアップする。
- Step 5. 自分のブログと併用する。
- Step 6. Refollowを使う。
- Step 7. Listを作る。人のListを見る。
- Step 8. 検索コラムを作って、常に表示させる。
- Step 9. お気に入りのユーザーのGroupを作る。
- Step 10. 自分がハブになる。

詳しくは、下記をご覧ください。  
<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2009/11/twitter10-e8a0.html>



## つながる力

ツイッターは「つながり」の何を変えるのか?  
1,365円

「ツイッターって何?」「皆どうして夢中になるの?」ネット上を震撼させた凸凹コンビが、そんな疑問に全てお答えします。



## ズルい仕事術

1,470円

「限られた時間と能力を付加価値のあるアウトプットに効果的につなげる仕事術」を身につけ「ズルい人」になりましょう。

楽天ブックス 勝間和代特集

<http://books.rakuten.co.jp/event/book/business/katsuma-kazuyo/>

## 近況報告 自営業者が、電子ガジェットが2台ずつ必要なわけ

いつもPCを持ち歩き、Twitter、Facebook、ブログで、いつでも、どこからでも情報を発信する勝間。なぜ、そのようなことができるのか・・・その舞台裏をご紹介します。

(2012年1月10日のブログ記事より)

昨日、ルーターをもう1台買ったとTweetしたら、「なぜ2台目?」、という質問が多かったので、そのわけをこちらにまとめます。

私は自営業なので、仕事に不可欠なものが壊れると、仕事が継続できなくなり、その場で仕事がストップして収入が途絶えます。あるいは、壊れないまでも、いざ使おうと思ったときに充電されていなかったり、どこかに入り込んだりしていると、それを探しているうちに出かける時間や締め切りが来てしまったりします。なので、業務システムが必ずバックアップをもっているのと同じように、主要なものはすべてバックアップを持つようにしています。



まず、パソコン。これが壊れるとにっちもさっちもいかないので、データはすべてクラウドに保管、複数のパソコンで同じデータをSugarSyncやGmailで共有するようにしています。

次が携帯とネットワーク環境。電話はやはり2台、ルーターも電池切れや故障に備えて2台です。キャリアもなるべくばらけるようにします。場所によって、つながりやすいキャリアが違うので。

電子書籍端末も2台です。いつでも、どこでも、読めるようにするためです。もちろん、カメラも2台です。



ここまでしても、旅行など片方しか持って行かなかった時にそちらが壊れて、困ったりすることもしばしばです。しかし、もはや紙とペンには後戻りにはできない仕事環境、割り切ってがしゃがしゃとガジェットを持ち歩きながら、家の中では充電器やコードに埋もれながら、暮らすことにしています。便利になったんだか、不便になったのだから、さっぱりわかりませんね(笑)。

### 編集後記

Facebookの創設者を描いた映画『ソーシャル・ネットワーク』の公開が昨年1月。日本でのFacebookへの訪問者は、そのころから増え始め、10月には約1,130万人と、1年間で4倍になったそうです。みなさんは、FacebookやTwitterといった、SNSをどのくらい使っていますか? 今月号の『KatsuMagazine (カツマガジン)』は、FacebookやTwitterを使ったことのない方や、使いこなせていない方に向けた入門編です。ひととおりに楽しめる段階までのステップをまとめています。これを機会に、まずは登録からチャレンジ! そして、自分なりのSNSの楽しみ方を発見していただけたら嬉しいです。

発行元/ 株式会社 監査と分析  
発行日/ 2012年2月3日

## 【勝間和代の無料オフィシャルメールマガジン】

勝間のおすすめ本、Q&A、〇〇さんから聞いたちょっといい話、イベントの優先予約情報などを、第1・3金曜日にお届けしています。



登録はこちら [http://www.katsumaweb.com/modules/contents/index.php?content\\_id=14](http://www.katsumaweb.com/modules/contents/index.php?content_id=14)

# 勝間和代と “学び”を共有する学舎 **勝間塾**

2012年1月20日、勝間塾月例会が開催されました。テーマは「英語」、ゲスト講師は『20歳を過ぎてから英語を学ぼうと決めた人たちへ』の著者 Hiroyuki Hal Shibata (シバタヒロユキ) さん。英語でのグループディスカッションから始まったシバタさんのお話をダイジェストでお届けします。

## 英語でディスカッション『もし世界中で日本語が通じたらあなたは何をしたいですか』

15分間、英語だけでディスカッションをしてもらいましたが、どうでしたか？ このディスカッションの題「世界中で日本語が通じたらしたいこと」は、「英語を自由に使えたらしたいこと」とほぼイコールです。現在25歳の方が、英語ができないまま75歳まで働くとしたら、その人は『今後50年間英語ができない人』としてのキャリアを歩むことになります。英語が自由に使えたらやりたいことがあったり、英語ができないことが自身のキャリアに不利益をもたらすと感じたなら、今すぐ英語を勉強してください。特に20代の方は必須です。寝る間を惜しんで勉強をしてほしいです。

## 忙しい社会人のための英語学習法（1,500時間の学習時間を確保しよう）

仕事で英語を使うのに必要な最低限の段階に到達するためには、約1,500時間の勉強が必要です。そのための方法として、私は「移動時間の活用」と「英会話学校の早朝授業」を提案しています。

「移動時間の活用」とは、すなわち、スキマ時間の活用です。通勤中や家事をしながらの時間を英語の勉強に充てるのです。英会話学校については、以前は、高い授業料が必要でしたが、今は無料のインターネット電話サービスを利用し、日本とフィリピンをつなぎ、英語の授業を自宅で、しかもマンツーマンで受けることができる時代になりました（毎日約30分の受講で、授業料は1ヶ月5,000円程度）。早朝オンライン授業30分+予習・復習30分+移動時間の耳学習2時間で、1日3時間。これを1年半続ければ、1,500時間が確保できます。

## 完璧主義や思い込みを捨てて、仲間と一緒に英語学習を続けよう

英語学習で、まずおすすめするのは、発音を直すことです。誤解の原因となりやすい「th」の発音や、「L」と「R」の区別といった細かい点を徹底的に矯正してください。オンライン英会話をうまく利用すれば、24時間くらいで、発音の基礎が身につきます。それから、ボキャブラリーを増やしましょう。

私たち日本人にとって、英語は第一言語ではありません。まずは、完璧主義を捨ててください。日本語なまりが入っていても大丈夫。単語でしか話せなくても、でたらめな英語でも通じます。でたらめな段階をしばらく続けていると、文章を組み立てて話せるようになります。「ネイティブ並みの発音で、ネイティブのように話さないといけない」という思い込みは捨て、一緒に学ぶ仲間を見つけ、英語学習をぜひ、続けていってください。

次の月例会は  
**2月20日!**

### 勝間塾 第11回 月例会

テーマは **ITリテラシー**

日時：2012年2月20日（月）19:00～20:40

場所：直接お知らせします

※リモート受講は、2/19まで受け付けています。



月例会は、インターネット中継でのリアルタイム受講や、ダウンロード資料（オーディオブックとテキスト）での受講も可能です。会員専用のコミュニティもご利用いただけます。

勝間塾へのお申し込みを希望される方は、こちらの詳細ページをご覧ください。

<http://www.katsumaweb.com/juku.htm>